

## 冬の上高地のスノー・ハイキング

山田和人

1月下旬に、山研の様子を見に行ってきました。上高地は11月の中旬に閉山、それ以降はバスもタクシーも入ることができません。ホテルや山小屋も営業していません。この時期に入るには、国道158号の中の湯交差点（釜トンネル入り口）から歩いて入ることになります。中の湯には駐車場がありませんので松本⇄高山のバスに乗り、中の湯バス停で降ります。

歩き始めは自動車道のトンネル。昨シーズンまでトンネル内は暗く、ヘッドランプが必要でしたが、今シーズンは照明塔が新しくなり、ランプなしで歩けるようになっています。釜トンネルは1・5kmあり、曲がりくねりながらの上り坂で、いちばんきつい所は11%の勾配がありますので、スタスタ歩こうとすると意



訪れる人も少なく、ひっそりとたたずむ河童橋

外に息が上がってしまいます。トンネル出口は降雪が続くと右上から雪崩の危険があるので注意しながら出て、もう一つトンネルを潜ると真横で焼岳が迎えてくれます。

ここからは雪道となっている県道（夏はバスが走る道路）を進んで行きます。数日降雪がなければ踏み跡があるので、登山靴のままあるいはチェーン・スパイクなどの軽アイゼンで明るい上り坂を歩いて行けます。新たな積雪があれば、スノーシューかワカンがないとラッセルが厳しいでしょう。

道が右にカーブして下りにかかる箇所で、晴れていれば真っ白な穂高の稜線が綺麗に見えます。道の左側は梓川の谷、右側は山の急斜面なので、常に右側からの雪崩に注意する必要があります。その先の大正池は静かに広がっていて、モノトーンの世界に鴨が飛び立ちます。大正池手前の右斜面には小さな谷が入っていて、昨年3月には雪崩で怪我人が出ました。

大正池からは夏の遊歩道を歩きます。冬は葉が茂っていないので、ハンノキやダケカンバの灌木の間から先が見通せる明るい道となっています。ニホンザルが飛び回りながら笹の葉を食べているシーンに出会えることもあるでしょう。田代湿原からの穂高は、夏とは違った表情を見せてくれます。ほどなく中ノ瀬園地に到着です。

ひと休みしたら田代橋・穂高橋を渡って右岸へ。ここからは梓川の大曲りを見ながら歩きます。ウェストン碑は雪が着いて寒々しい感じですが、埋もれることはありません。西糸屋が見えたら河童橋です。風雪に耐えるその姿は、なぜか夏より大きく見えます。岳沢方面に目をやると、河畔のケシヨウヤナギの枝が紅色に染まって、モノト



雪に埋もれ、静まり返る山研

ーンの中でちょっと不思議な光景となっています。この景色は冬の上高地でしか見られません。山研まで少し足を延ばしてみると、冬を耐えている建物が少し小さく見えるのは、積雪のせいでしょうか。積雪深は50～70 cm程度でした。

河童橋までは景色を眺めながらゆっくり歩いて2～3時間。帰りはバスの時間を気にしながら左岸側の県道をどんどん歩いて行きます。針葉樹の森の道路なので少々暗いですが、大正池まで一気に歩けます。大正池からは往路と同様雪崩に注意しながらトンネルへ。

上高地の冬を楽しむスノー・ハイキング、皆さんもいかがでしょうか。なお、トイレは大正池・中ノ瀬園地・小梨平の3ヶ所です。遊歩道や県道など、指定されたルート以外には踏み込まないことがルールです。それと登山届を釜トンネル入り口のポストへ。

(上高地山岳研究所管理人)